

誌上クラス会 東京ソイルリサーチ OB会だより 訪問日 5月17日

関東緑土会 小林哲男(昭和47年卒業)

今回の誌上クラス会は、昭和53年卒業の田部井さんが社長をされている「株式会社東京ソイルリサーチ」さんを訪問しコミュニケーションを行いました。訪問者は船越顧問・中山幹事・小林的3名です。

今回は田部井さん、伊藤さん、安さんの3名のOBの皆さんとコミュニケーションが出来ましたが、あと2人(東京支店・名古屋支店所属)おられるそうで名刺を頂戴しました。資料添付しています。

田部井社長には会社の紹介記事を提供して頂きましたので同様に資料添付します。

また「東京ソイルリサーチ50年誌 大地、ここに夢を架けて」(2016)を頂きました、ここに御礼を申し上げますと共に表紙等をご紹介します。



田園都市線駒澤大学駅に近い本社ビルです



左より 田部井さん(53年卒業)、伊藤さん(53年卒業)、安さん(平成8年卒業)



東京ソイルリサーチ

地盤調査から地震動評価、基礎および建物の健全性評価・補強設計まで一貫した技術で地震国・日本を支えてきました



古生代の終わりから中生代にかけて、地球上の陸地は、バンゲアと呼ばれるただ一つの超大陸に集約されていました。これを約2億年かけて現在の6大陸に分けたのが、地球表面のプレートの動きです。日本列島の地盤も、プレート運動によるダイナミックな地殻変動、氷河期がもたらす大きな海面変動、そして活発な火山活動によって形成されました。東北地方太平洋沖地震のような大規模な地震が頻発するのも、日本列島が4つのプレートの境界に位置しているからです。

東京ソイルリサーチは、創業以来52年間、地震をテーマに耐震設計に必要な地盤調査技術、地震動評価技術、基礎の健全性調査技術、構造物の耐震診断・補強設計技術の開発に努めてまいりました。

弊社は、これまで官民の建築関係のお客様との取引が主体で、お蔭様で建築分野では国内でトップシェアの位置にあります。逆に、土木分野での事業量は少なく、知名度も高くありません。しかし、地盤や地震、基礎・構造物の耐震問題は、土木・建築の区別はありませんので、これを機会に当社を知っていただき、様々なご相談をいただければ幸いです。

耐震関連の独自技術の開発

当社の創業者（大槻朝雄）は、終戦後まもなく旧建設省建築研究所に入省し、アメリカから地盤調査と土質試験の技術を導入して戦後復興に大きく貢献しました。昭和41年に東京ソイルリサーチを創業した大槻は、建築研究所時代からの課題であった地震国日本における耐震技術の開発に民間企業の立場で取り組み始めます。

社会に貢献した耐震技術の一つ目は、地盤の凍結サンプリング技術です。昭和48年に開発を開始し、完成までに約20年を要しています。平成4年に特

許を取得し、途中、昭和61年には、土質工学会技術賞も受賞しました。この技術は、砂地盤や砂礫地盤を -196°C の液体窒素で凍らせた後に、地中からサンプリングするもので、乱れの極めて少ない高品質な試料の採取が可能です。地震時の液状化判定の方法としてFL法が土木・建築の公的機関で規格化されていますが、これらはすべて、当社が行った凍結サンプリングと、その試料を使って実施した液状化試験（室内土質試験）の結果に基づいています。

写真は、北海道旭川市近郊の忠別ダムで実施した凍結サンプリングで採取した砂礫試料です。ここでは、砂礫層の上にダム本体を建設する必要があったため、砂礫層の透水性が問題となりました。このため、直径30cmで試料を採取し、室内の大型試験機で透水試験を実施したものです。



最近では、平成23年の東北地方太平洋沖地震の後に、堤防の地震時安定検討を目的とした業務（独立行政法人土木研究所様発注）、原子力発電所の再稼働に向けた液状化危険度評価業務（各電力会社様発注）など、実績は120件を越えます。

二つ目は、つくば総合試験所（昭和59年設立）における地盤の動的試験技術です。ここには日本でも有数の大型の動的土質試験装置、ここにしかない特殊な動的試験装置を配置し、地震時の土の動的性



つくば総合試験所



大型動的三軸試験装置

質や液状化抵抗を高い精度で評価しております。現在も特殊な試験装置の開発に着手しており、その充実度は世界屈指のものと自負しております。

また、つくば総合試験所では、土木研究所、建築研究所、農耕工学研究所などで、振動台や遠心載荷装置を用いた土槽実験業務も担当する他、防災科学技術研究所の発注でE・ディフェンス（兵庫県三木市）

における振動台実験装置の開発と実験業務も実施しております。これら業務を通じて土の動的性質に関する知見や実験ノウハウが蓄積されています。



大型土槽による振動台実験

三つ目は、既存建物の耐震診断・補強設計技術です。この技術を昭和 51 年に日本で最初に事業化したのは当社です。当初は、歴史的建造物の保全が目的でしたが、平成 7 年の阪神淡路大震災以降は、一般の建築物の耐震性評価が業務の主流となっています。最近では、

首都圏直下型地震の避難経路の確保を目的として実施された「東京都の沿道対策」業務で大きな役割を果たしました。



明石天文台

四つ目は、建物基礎の健全性や支持性能・耐震性能を調べる調査技術です。平成 3 年にオランダ IFCO 社から導入した IT 試験技術を中心に、社内で技術開発したボアホールソナー技術を用いて杭の健全性や形状の評価を行っています。最近では、平成 28

年の熊本地震で、国土交通省などの発注により既存杭の被害調査、健全性評価を行いました。また、日本最大規模の杭の鉛直・水平



基礎下における既存杭の健全度調査

載荷試験（電力会社様発注）の実績もあります。

この他にも、一般の地盤調査業務はもとより、地震動評価として設計用入力地震波の作成、土壤汚染調査、測量、斜面防災設計、既存擁壁の健全度評価・補強設計業務なども実施しております。

当社の特徴は、何と言っても、その専門技術の高さにあります。技術への取組み体制として、国の研究機関、スーパーゼネコンの研究所、大学の研究室などと連携している他、地盤と基礎、液状化、地震動において国内でも著名な専門家を社内に配置しております。この体制により、これまで多くのお客様から相談を受け、問題解決に協力してまいりました。

《東京ソイルリサーチの概要》

設立：昭和 41 年 4 月 7 日

資本金：1 億 6,500 万円

従業員：231 名（平成 30 年 3 月時点）

資格者：博士（3 名）、技術士（60 名）、一級建築士（16 名）、一級土木施工管理技士（48 名）、環境計量士（1 名）、測量士（16 名）、他

本社：東京都目黒区東が丘 2-11-16

TEL：03-3410-7221

HP：<http://www.tokyosoil.co.jp>

事業所：構造調査設計事業部、つくば総合試験所、解析技術室、土質基礎研究所

支店：東京、札幌、東北、横浜、名古屋、関西、広島、九州

営業所：新潟、金沢、兵庫、岡山、鹿児島、沖縄、他

東京ソイルリサーチ50年誌

大地、ここに夢を架けて

2016

THE 50 YEAR HISTORY OF
TOKYO SOIL RESEARCH

東京ソイルリサーチ50年誌

大地、ここに夢を架けて

2016

THE 50 YEAR HISTORY OF
TOKYO SOIL RESEARCH

謹 呈

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、弊社はおかげさまでもちまして、本年4月7日で創業50周年を迎えました。つきましては、これを記念し、「東京ソイルリサーチ50年誌—大地、ここに夢を架けて—」を刊行いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

皆様方の永年にわたるご支援に感謝いたしますとともに、今後とも一層のご愛顧、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

平成28年4月吉日

株式会社 東京ソイルリサーチ

代表取締役社長 田部井 哲夫

創 業 者 大槻 朝雄



代表取締役社長

田部井 哲夫

株式会社東京ソイルリサーチは、2016(平成28)年4月に創業満50年を迎えました。1966(昭和41)年4月、わずか550万円の資本金と38名の社員でスタートした弊社は、今では、資本金1億6,500万円、従業員221名、全国に27拠点を持つ業界を代表する企業に成長いたしました。これもひとえにお客様のご愛顧とご支援の賜物と心より御礼申し上げます。また、我々を支え、我々と共に汗を流してくれた協力会社の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

弊社は、3つの社是である「誠実に務めよう」「健康に留意しよう」「建設人としての誇りを持つ」と50年間守り続けてまいりました。この意味するところは、人間として誠実さがなければ正しい仕事はできない、健康でなければ健全な精神も育たない、一所懸命に仕事をする中で自然に自信と誇りが持てるようになる、ということです。このように人間として当たり前のことを、あえて社員に要求することで、初めてよい仕事ができるようになったのです。

3つの社是を受けて、弊社は、創業以来、「正確で高品質な地盤情報の提供」を企業理念とし、耐震関連の技術開発と関連事業領域の拡大にも力を入れてまいりました。凍結サンプリング工法に代表される技術開発、つくば総合試験所における動的試験装置の充実と振動台実験等の実績は、まさに正確で高品質な地盤技術として高い評価をいただいております。また、基礎の健全性評価、設計用入力地震波の作成、建物の耐震診断・補強設計など事業領域の拡大を図り、地盤～基礎～建物までの一貫した技術をお客様に提供できる体制を整えてまいりました。

これからのわが国は、南海トラフ等で想定される巨大地震、地球規模の気候変動がもたらす集中豪雨による自然災害への対応が求められています。弊社は、これまで培ってきた耐震関連技術に加えて、長周期地震動評価、液状化解析、斜面防災設計、宅地と擁壁の安全性評価にも力を入れ、社会とお客様の課題の解決を支えてまいります。

弊社は、品質管理により一層力を入れ、正確で高品質な地盤情報の持続的提供に努めてまいります。また、広く社会の未来を見据えて、技術の研鑽と開発を行い、これらを支える技術者の育成にも取り組んでゆく所存でございます。お客様には、引き続きご愛顧いただきますとともにご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社
東京ソイルリサーチ

553

代表取締役社長 **田部井 哲夫**
(技術士 建設部門)

ISO 9001
認証取得

R100

本社 〒152-0021 東京都目黒区東が丘2-11-16
TEL 03-3410-7221 FAX 03-3418-0127
E-mail: tabel@tokyosoil.co.jp
URL: <http://www.tokyosoil.co.jp>

株式会社
東京ソイルリサーチ

553

建設コンサルタント
地盤調査・土木設計・測量
構造物調査診断・環境調査
補償コンサルタント

東京支店 技術調査部
技師長

伊藤 雅朗
(技術士 建設部門)
(一級土木施工管理技士)

ISO 9001
認証取得

R100

東京支店 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-6-16
HF青葉台ビル
TEL 03-3463-2281 FAX 03-3463-2396
E-mail: ito.masao@tokyosoil.co.jp
URL: <http://www.tokyosoil.co.jp>

株式会社
東京ソイルリサーチ

148

建設コンサルタント
地盤調査・土木設計・測量
構造物調査診断・環境調査
補償コンサルタント

技術管理部 海外事業支援室
課長代理

安 浩輝
(技術士 建設部門)

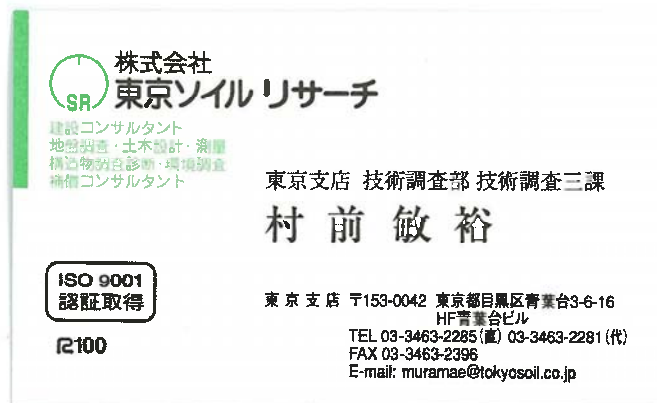
ISO 9001
認証取得

R100

本社 〒152-0021 東京都目黒区東が丘2-11-16
TEL 03-3410-7221 FAX 03-3418-0127
E-mail: yasu@tokyosoil.co.jp
URL: <http://www.tokyosoil.co.jp>

5月17日に参加できなかった卒業生の名刺

村前 敏裕 : 平成26年3月 都市工学科 卒業



杉田 元気 : 平成27年3月 都市工学科 卒業

